

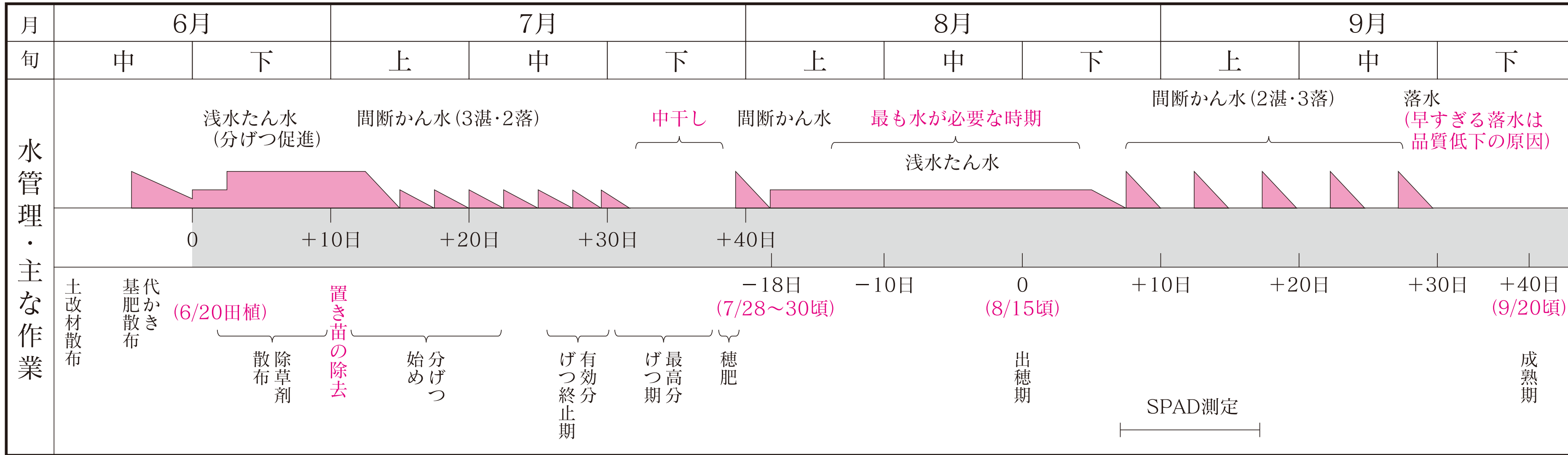
令和6年産 特別栽培米 夢つくし 栽培こよみ

農薬適正使用スローガン

1. 散布前に必ず農薬ラベル確認!
2. 散布時は、近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底!
3. 水田では、除草剤散布後の止水期間(7日間)を遵守!
4. 散布後は、必ず散布器具(タンク・ホース等)を洗浄!
5. 防除履歴は、正確に記帳!

筑前あさくら農業協同組合
三輪地区特別栽培米部会

○主な作業と水管理 (夢つくしの平坦地水管理例(6月20日田植))



- 田植後10日~2週間は活着促進とジャンボタニシ予防のため浅水たん水を行う。
- 田植30日後(1株莖数20本程度)から中干しを開始する。(中干し期間は7日間程度で強すぎないようにし、その後は徐々に間断かん水を行う。)
- 幼穂形成期~出穂~開花期は水が最も必要な時期なので浅水たん水を行う。
- 台風接近時は深水にして風によるしおれを防ぐ。
- 充実を良くするため落水は収穫前7~10日に行う。

○育苗基準 (老化苗・病害防止のため23日苗とする)

1. 種子 全量種子更新
2. 用土 土は10a当たり、あさくら培土4袋。
3. 種子消毒 専用機械で温湯消毒を実施する (60℃で10分浸漬)
※必ず乾粉を使用し、温湯で時間を厳守すること。
4. 浸種 浸種は7日程度行い、水替えは1日1回行う。
芽出しは1mm程度とする。
5. 播種 播種量は1箱当り催芽粉で130g(1.1合)を基準とする。
6. 平床育苗 生育促進、もみ枯細菌病等の予防として、苗箱は日当たりが良く、風通しの良い場所に並べ、被覆資材で被覆する。
徒長防止のため苗の長さが4~5cm位になった被覆資材を除去する。(7日程度)
※箱施薬剤は、確実に1箱あたり50g施用しないと防除効果が劣る。
※栽植密度は、60株/坪。(目安 19cm×30cm)
※ジャンボタニシ発生田では浅水管理を行い、スクミンベイト3を散布する。

○土づくり

| 資材の分類 | 資材名 | 施用量 (10a当たり) | 備考 | | |
|-------|-------|--------------|--|--------|-----------------------|
| 有機質 | 万能堆肥 | 2t | 腐植の増加 土壌通気性、保水性の向上 | | |
| | 麦わら | 全量 | 耕起前に硫酸10kg/10aを施用 (麦わらの分解促進) 間断かん水の励行 (根痛み防止) | | |
| ケイ酸質 | けい酸加里 | 40~60kg | カリの供給 微量元素の供給 鉄分の供給 石灰の供給 | ケイ酸の供給 | 登熟向上 倒伏防止 病害虫予防 |
| | ミネラルG | 200kg | | | |
| | ケイ鉄 | | | | |

○施肥基準

| 肥料名 | 基肥 | 追肥 | 成分量 (kg/10a) | | |
|----------------------|----|----|--------------|------|------|
| | | | N | P | K |
| 一発 有機エムコート355 (100日) | 55 | | 7.15 | 2.75 | 2.75 |
| 分施 スーパーユーキくん2号 | 45 | | 5.4 | 2.25 | 2.25 |
| 分施 スーパーユーキくん3号 | 20 | 20 | 2 | 0.6 | 1.6 |

○除草剤使用基準

| 薬剤名 | 使用料 | 処理時期(田植後) | 注意事項 |
|---------|--------------------------|-----------|------|
| キマリテ | 1キロ粒剤 1kg | 0~10日 | |
| | フロアブル 500ml | | |
| ガンガン | ジャンボ 10バック | 3~10日 | |
| | 1キロ粒剤 1kg 豆つぶ250 250g | | |
| ポテガードプロ | ジャンボ 10バック | 5~10日 | |
| | 1キロ粒剤 1kg フロアブル 500ml | | |

※ポテガードプロは、後作物に薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎ及びさやえんどうを栽培しないこと。
※広葉雑草が多い圃場では、処理時期内の早い時期に散布する。

田植同時(当日)に除草剤を使用する際は右記条件では薬害が発生しやすい

| 条件 | 要因 |
|------|--|
| 根の露出 | 浅植え・浮き苗 麦わらによる植え付け不良 土壌が固く植え穴が戻らない |
| 漏水田 | 代かきが不十分 モグラの穴による漏水 ほ場の水持ちが悪い |

○病害虫防除基準

- 箱施薬(は種時~田植当日)1回
防人箱粒剤 (いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、ウンカ、コブノメイガ)
- (いずれか1剤使用 50g/箱) ブーンゼクテラ箱粒剤 (いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、ウンカ、コブノメイガ)
- 本田防除(8月中旬)1回
液剤… ロムダンゾル(1000倍) (コブノメイガ、イネツトムシ)
ノンプラスバリダフロアブル(1000倍) (いもち病、紋枯病)
スタークル液剤10(1000倍) (ウンカ、カメムシ)
(出穂、開花期は使用を避ける)
- 補正防除については、病害虫の発生状況に応じて行う。

注) 農薬、肥料は令和6年1月16日現在の登録状況に基づき、記載しています。